

錦川清流線といわくにバスで行く岩国の酒蔵を巡る旅

① 八百新酒造(雁木)



発酵段階ごとにタンクのサイズを変えるなど微生物のための最適環境を整える手間を惜しまない酒造りを追及している。米という素材そのものの可能性を引き出すことに打ち込んでできたお酒が「雁木」です。

岩国駅

② 酒井酒造(五橋)



代表酒の「五橋」は錦帯橋の優美さを願い、心と心の掛け橋にとの思いを込めて名づけられました。杜氏の研ぎ澄まされた感覚とたゆまぬ努力、技術の研鑽により全国からの支持を得ています。

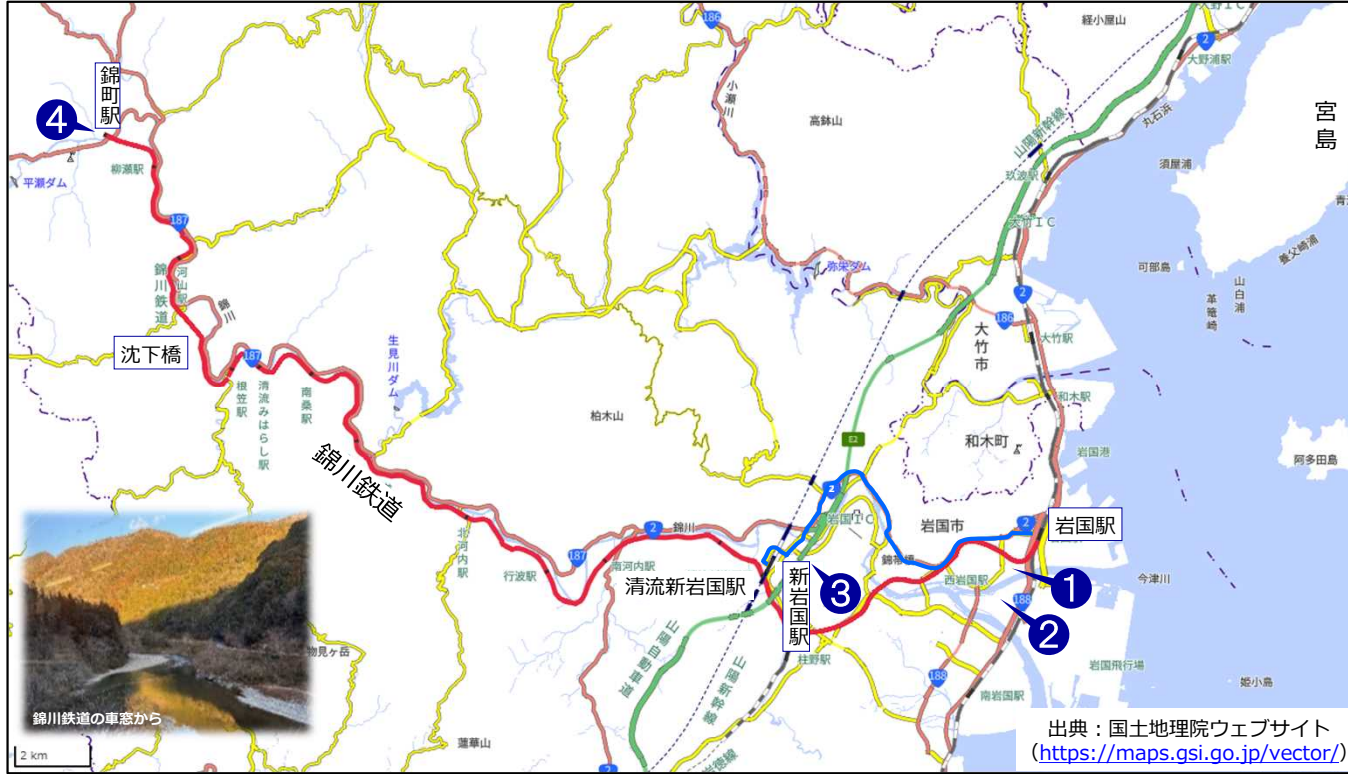
西岩国駅

沿線の見所もたくさん 酒井酒造(五橋)



沈下橋は、川が増水しても破壊を防ぐために、流木等が引っかからないよう、欄干等がない構造になっています(錦川清流線の車窓から見ることができます。沿線の見所はゆっくり走ってくれます)。

錦川清流線



出典：国土地理院ウェブサイト
(<https://maps.gsi.go.jp/vector/>)



錦川鉄道
清流線時刻表



いわくにバス
時刻表



モデルコース

岩国駅(10:15発)～徒歩20分～ ①八百新酒造(10:50発)～徒歩12分～ ②酒井酒造(11:20発)～徒歩4分～大藪バス停(11:33発 平日のみ)～バス10分～岩国駅前バス停(11:43着)・昼食～岩国駅前バス停(12:45発)～バス29分～新岩国駅バス停(13:14着)～徒歩5分～ ③村重酒造(14:20発)～徒歩10分～清流新岩国駅(14:42発)～錦川清流線50分～錦町駅(15:32着)～徒歩6分～ ④堀江酒場(15:50発)～徒歩6分～錦町駅(16:05発)～錦川清流線70分～岩国駅(17:15着)

※各施設の営業日時は、事前にホームページ等でご確認ください。
※鉄道・バス・航路等の公共交通機関の時刻案内は、令和8年3月27日現在です。
最新の時刻案内は、各社ホームページで必ずご確認ください。

③ 村重酒造(金冠黒松)



豊かな自然に囲まれており、寒冷清涼・豊富な水を利用した酒造りには最適な場所です。「酒造りは環境づくりから」をモットーに掲げ、自由な発想で食事と一緒に楽しむ味わい重視の食中酒造りにこだわっています。

清流新岩国駅

④ 堀江酒場(金雀)



1,000メートル級の山々が周囲にそびえ、県内最長の清流・錦川が流れる錦町に江戸時代から続く酒蔵です。江戸時代から代々伝わるその伝統的な技法と最新の技術で、真髓の一滴を追い求め続けています。

錦町駅

コースにはないですが…

日本酒ブームの火付け役となった「獺祭」の酒蔵として有名な株式会社 獺祭。今回のモデルコースには含まれていませんが、「獺祭」を堪能すれば岩国市内にある5つの酒蔵を全制覇できます。

獺祭(獺祭)



周防高森駅(岩徳線)